

講座「熊谷歴史たてものレビュー」

— 熊谷市の歴史的建造物を学ぶ —



熊谷市は国宝「歡喜院聖天堂」をはじめ多くの歴史的建造物が所在する「名建築」の宝庫です。名工達が建立した建造物が、長い時間を経て現在に至るまで保存され、熊谷の歴史や文化芸術の特色を明らかにしています。画像や図面などを用いて、建造物の概要を解説しながら、建物の文化財としての価値などを分かりやすくレビュー（Review：評論・評価）する講座を開催します。

日時：令和元年10月23日（水） 10時00分～12時00分

会場：熊谷市立大麻生公民館（熊谷市大麻生1010）

定員：50名 費用：受講無料 事前申込不要（当日受付）

講師：熊谷市立江南文化財センター 山下祐樹 主任（学芸員）

（埼玉建築士会歴史的建造物保全活用専門家・ヘリテージマネージャー）

概要：熊谷地域を代表する建造物には、国宝「歡喜院聖天堂」のほか、重要文化財「貴惣門」、重要文化財「平山家住宅」、県指定文化財「上之村神社本殿・雷電神社本殿」、県指定文化財「諏訪神社本殿」、市指定文化財「根岸家長屋門」、市指定文化財「常光院本堂」、国登録有形文化財「熊谷聖パウロ教会」、国登録有形文化財「坂田医院旧診療所」などがあります。それぞれの特徴や概要を説明した上で、建造物の熊谷ならではの特色や、熊谷の地だからこそ建立された経緯・意義などについて分かりやすく紹介します。

問合せ先 大麻生公民館 電話 048-532-3519

（講座内容について：江南文化財センター 電話 048-536-5062）